



2013年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2012年6月25日

上場会社名 株式会社ツヴァイ 上場取引所 東
 コード番号 2417 URL http://www.zwei.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮武 正容
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)後藤 喜一 (TEL)03(3519)7401
 四半期報告書提出予定日 2012年7月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2013年2月期第1四半期の業績(2012年2月21日~2012年5月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2013年2月期第1四半期	1,019	18.3	29	—	44	3,527.0	19	—
2012年2月期第1四半期	861	△8.1	△14	—	1	△96.9	△27	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2013年2月期第1四半期	円 銭 5 00	円 銭 4 96
2012年2月期第1四半期	△7 07	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2013年2月期第1四半期	百万円 4,577	百万円 3,609	% 78.4
2012年2月期	4,431	3,659	82.2

(参考) 自己資本 2013年2月期第1四半期 3,587百万円 2012年2月期 3,644百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2012年2月期	円 銭 — —	円 銭 0 00	円 銭 — —	円 銭 30 00	円 銭 30 00
2013年2月期	— —				
2013年2月期(予想)		0 00	— —	30 00	30 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2013年2月期の業績予想(2012年2月21日~2013年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,950	7.7	120	146.1	135	101.2	70	2,485.9	17 95
通期	4,100	—	500	—	520	—	280	—	71 79

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2013年2月期は、12ヶ月8日の変則決算となるため、通期の対前期増減率は記載しておりません。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2013年2月期1Q	3,900,000株	2012年2月期	3,900,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2013年2月期1Q	236株	2012年2月期	236株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2013年2月期1Q	3,899,764株	2012年2月期1Q	3,899,805株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費や生産活動に緩やかな回復の兆しがみられたものの、欧州の金融不安や原油価格の高騰等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。また、当事業における経営環境につきましては、お客さまの結婚に対する積極的な姿勢は継続していると判断しております。一方で、お客さまのサービスニーズはますます多様化しており、そのニーズにスピードを持って対応していくことが求められております。

そのような環境の中、当社は継続して「既存事業の再構築」「新しい事業・サービスの開発」「アジアでの事業展開」に取り組んでまいりました。

①「既存事業の再構築」

当第1四半期累計期間におきましては、お客さまニーズにきめ細かく対応し入会からご成婚まで一貫してサービスを提供する環境を整えるため、営業と会員サービス部門の組織統合を実施いたしました。

また、営業面においては、法人団体契約企業への積極的な営業活動を実施してまいりました。具体的には、新規法人団体企業の契約推進と既存法人団体契約企業への営業強化に取り組まれました。その結果、6法人団体との新規法人団体契約が締結できました。また、法人団体契約企業からの新規入会者は前年同四半期比72.6%増となりました。

サービスの可視化への取り組みとして、ショッピングセンターをはじめとした商業施設への出店を推進しております。当第1四半期累計期間においては、併せて都市圏の営業力の強化を図るため、JR川崎駅前の商業施設「川崎ルフロン」に「ツヴァイ川崎ルフロン」を開設しました。これにより、当第1四半期末の営業店舗は54店舗となりました。

サービスニーズの多様化に対する取り組みとして、従前より強化してまいりましたシニア層への対応に加え、27歳以下のヤング層へのサービス充実に取り組んでまいりました。

②「新しい事業・サービスの開発」

パーティ・イベント事業「チャティオ」につきましては、当事業年度より中部エリアでのパーティを開始いたしました。また、6月には大阪エリアでのパーティ専用ラウンジの開設による関西地区での大幅なパーティ回数増加を計画するなど事業の拡大に取り組んでおります。これにより、当第1四半期累計期間のパーティ開催数は、291回（前年同四半期比576.7%増）となりました。

③「アジアでの事業展開」

タイでの事業展開につきましては、早期の認知度向上を図るためバンコク最大級のショッピングセンターである「セントラルワールド」での6月2日オープンに向けて準備を進めてまいりました。

これらの取り組みにより、当第1四半期の売上高については、新規入会者数が前年同四半期比22.7%増により入会金売上は45.3%増となりました。また、当第1四半期会計期間末の会員数が前年同四半期末比2.7%増により情報提供料売上が8.3%増となりました。パーティ・チャティオ・ブライダルなどのその他の売上については、チャティオの事業拡大などにより前年同四半期比56.7%増となりました。

コストにつきましては、入会者数増に伴う入会コストの増や広告宣伝を積極的に実施したことにより、売上原価は前年同四半期比9.5%増となりました。また、新規出店やシステム投資などによる固定費の増加により、販売費及び一般管理費は前年同四半期比16.7%増となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は10億19百万円（前年同四半期比18.3%増）、営業利益29百万円（前年同四半期は14百万円の営業損失）、経常利益44百万円（前年同四半期比3,527.0%増）、四半期純利益は19百万円（前年同四半期は27百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当社においては、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第1四半期会計期間末の総資産は、45億77百万円となり、前事業年度末に比べて1億45百万円の増加となりました。

流動資産は、30億24百万円となり、前事業年度末に比べて73百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金と関係会社預け金の増加によるものであります。

固定資産は、15億53百万円となり、前事業年度末に比べて72百万円の増加となりました。主な要因は、株式の時価評価による投資有価証券の増加額61百万円によるものであります。

② 負債

当第1四半期会計期間末の負債は、9億68百万円となり、前事業年度末に比べて1億96百万円の増加となりました。

流動負債は、7億46百万円となり、前事業年度に比べて2億円の増加となりました。主な要因は、買掛金と未払金などの流動負債その他の増加によるものであります。

固定負債は、2億22百万円となり、前事業年度末に比べて3百万円の減少となりました。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末の純資産は、36億9百万円となり、前事業年度末に比べて50百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少額97百万円と株式の時価評価によるその他有価証券評価差額金の増加額39百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2013年2月期の業績予想につきましては、2012年4月5日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2012年2月20日)	当第1四半期会計期間 (2012年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	389,078	421,060
売掛金	353,355	348,583
預け金	135,007	26,627
関係会社預け金	1,800,000	1,950,000
金銭の信託	204,894	204,703
その他	70,453	75,675
貸倒引当金	△1,412	△2,076
流動資産合計	2,951,377	3,024,575
固定資産		
有形固定資産	172,365	171,783
無形固定資産	95,270	102,680
投資その他の資産		
投資有価証券	524,772	586,513
関係会社株式	87,122	87,122
敷金	273,132	277,311
保険積立金	327,460	327,460
その他	396	368
投資その他の資産合計	1,212,884	1,278,776
固定資産合計	1,480,520	1,553,239
資産合計	4,431,898	4,577,814
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,367	151,424
未払法人税等	72,519	27,597
前受金	199,015	219,225
賞与引当金	12,991	32,507
役員業績報酬引当金	20,690	8,460
その他	177,650	307,089
流動負債合計	546,234	746,304
固定負債		
退職給付引当金	45,148	47,925
繰延税金負債	81,071	106,341
資産除去債務	51,143	51,901
長期未払金	48,330	16,260
固定負債合計	225,694	222,428
負債合計	771,929	968,732

株ツヴァイ(2417)2013年2月期第1四半期決算短信[日本基準](非連結)

(単位：千円)

	前事業年度 (2012年2月20日)	当第1四半期会計期間 (2012年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	444,000	444,000
資本剰余金		
資本準備金	450,000	450,000
資本剰余金合計	450,000	450,000
利益剰余金		
利益準備金	60,000	60,000
その他利益剰余金		
任意積立金	2,070,000	2,270,000
繰越利益剰余金	333,176	35,700
利益剰余金合計	2,463,176	2,365,700
自己株式	△312	△312
株主資本合計	3,356,864	3,259,388
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	287,876	327,761
評価・換算差額等合計	287,876	327,761
新株予約権	15,228	21,932
純資産合計	3,659,969	3,609,082
負債純資産合計	4,431,898	4,577,814

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2011年2月21日 至 2011年5月20日)	当第1四半期累計期間 (自 2012年2月21日 至 2012年5月20日)
売上高	861,324	1,019,364
売上原価	451,800	494,509
売上総利益	409,524	524,854
販売費及び一般管理費	424,202	495,161
営業利益又は営業損失(△)	△14,678	29,693
営業外収益		
受取利息	2,333	1,619
受取配当金	12,924	12,998
その他	646	441
営業外収益合計	15,904	15,059
営業外費用	0	292
経常利益	1,225	44,459
特別損失		
災害による損失	10,592	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,949	—
特別損失合計	48,541	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△47,316	44,459
法人税、住民税及び事業税	4,493	26,558
法人税等調整額	△24,241	△1,615
法人税等合計	△19,748	24,943
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,567	19,516

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。